



「かわら版」の 発刊にあたり

一宮地域福祉推進委員会委員長
宍粟市社協副会長

段林 繁

すばらしい自然の恵みを受け、野や山に鶯の音が、そして大地にしっかりと根を張った草木の芽ふきを感じ、寒気に耐えた梅花から桜の花へ移り変わる花の便りに心弾むこのころです。が如何お過ごしでしょうか。

宍粟市社会福祉協議会も、合併して活動も大変広い地域になりましたが、役員をはじめ多くの皆さんのおかげで、福祉の事業も計画に沿って推進しております。

今、住み慣れた家庭や地域で、だれもが、さらに安心して暮らせる環境づくりについて、旧町毎に地域福祉推進委員会を立ち上げ、身近な活動にも取り組んでいます。

一宮地域福祉推進委員会では、心豊かな「いちのみや」を目指して、それぞれの自治会における福祉の関係者や、ボランティア等で日夜生活を支えていただいている皆さんの活躍、また、一人ひとりの伝えたい思い、身の回りのこと、知りたいこと、知らせたいこと、本当に住んで良かったと思えることなど、地域に密着した話題等、一宮を中心とした独自の手作りの「かわら版『i LOVE いちのみや』」を発刊することになりました。

このかわら版は「つながり」を合言葉にみんなで参画し、共有する話題紙として、いろいろな楽しんでいるだけですよう祈念し挨拶いたします。



一宮の特性を生かした福祉活動を！
一宮地域福祉推進委員会

一宮地域福祉推進委員会です

“いちのみや”の地域福祉を進めていきます。
どうぞよろしくお願いいたします。（敬称略）

委員長	段林 繁	（社協副会長）
副委員長	福原 祥雄	（一宮町連合自治会）
委員	安積 盛久	（社協理事）
委員	朽尾 多喜子	（社協理事）
委員	進藤 光昭	（一宮民生委員・児童委員協議会）
委員	藪根 政雄	（神戸地区代表福祉委員）
委員	赤松 眞幸	（染河内地区代表福祉委員）
委員	中尾 諭	（下三方地区代表福祉委員）
委員	山口 清次	（三方地区代表福祉委員）
委員	森下 良雄	（繁盛地区代表福祉委員）
委員	山本 明子	（J Aハリマ）
委員	垣内 安代	（住民代表）
委員	中野 典子	（行政）

うちの「小地域福祉活動」

北から南から①

三方町自治会の取り組み



三方町自治会では、毎年端午の節句に合わせて旧暦になる6月第1週に、ひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯の方々に、「かしわ餅」を届けています。

代表福祉委員の久保田浩一さんは、「かしわ餅づくりは、餅づくりを行う1か月前に関係者で集まって打合せをします。福祉委員が調べた隣保ことの対象者を確認し、かしわ餅の数などを決定します。やはり対象者の把握が大切です。」と話されます。

今年度も6月4日に福祉委員や自治会長、民生委員が中心となり、170個のかしわ餅を作り26世帯へ届けました。福祉委員の田路きり枝さんは、「かしわ餅づくりが見守りの必要な人たちの福祉関係者間での情報の共有、安否確認や訪問活動といった福祉活動の大切な役割を果たしています。」

また、ふれあい喫茶を2か月に1回開催。ボランティアは隣保の輪番制。一人で負担を背負わずボランティアの当番を回していくのが三方町流です。



三方町交流センターでかしわ餅づくり。メッセージも添えて・・・

民生委員の進藤光昭さんは、「三方町はひとり暮らしが増えてきており、気になっていいる人と話す機会になったり、来られなくても近所の人に様子を聞くことができたりと、情報を得る場になっています。」と思いを話されました。

（田中祥仁）

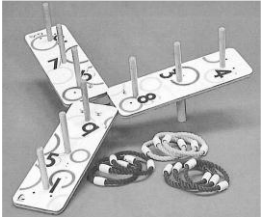
得得情報!!

室内ゲーム等 是非ご利用を!

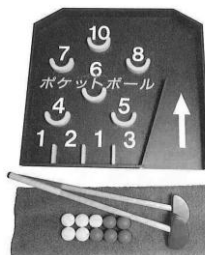
宍粟市社協では、自治会でのイベントやふれあいサロン・喫茶などで気軽に楽しめる室内ゲームや遊具を無料で貸し出ししています。ここを紹介しします。

わなげ9&Q

ジョイントの仕方で色々な組み合わせが楽しめる創作わなげです。



ポケットボール



台の得点ポケットに入れるゲームです。ボールはクラブで打っても、手で転がしてもOKです。

釣りっこ

竿のしなりとハラハラ感を同時に楽しんでください。



「バスのおいちゃん」 ～スクールバスの運転手～

「気をつけて帰ってよ」

雪道を帰る子どもたちに、今日も繁盛小学校のスクールバスの運転手さんの優しい声がひびきます。運転をされているのは、段林秀典さん(河原田)と小椋良一さん(三方町)。繁盛小学校では、全校生徒44名のうち、倉床、黒原、草木、千町の児童15名がスクールバスで登校。段林さんが倉床、黒原、小椋さんが草木、千町方面を担当しており、段林さんは繁盛幼稚園の送迎もされています。段林さんがこの仕事に就いたのは今から7年前。子どもたちの安全に人一倍気を使い、小さな子どもが嫌がるシートベルトも、「おっちゃん、全員がシートベルトをするまでバスを出さへんで」と徹底しておられます。



段林さん



「おっちゃん、いつもありがとう」

朝は7時20分に倉床からバスが発車できるよう、小学校には5時40分頃には出勤します。「冬場は寒くないよう、バスを暖めたり、子どもの安全には本当に気を配ってくれてです」と保護者からは感謝の言葉が聞かれます。

小学校の先生も、「段林さんはバスの運転だけでなく、池の掃除や花壇の手入れなども自主的にしてくださるので、子どもたちは、『人のためにすることの大切さ』を自然に感じているようです」と話して下さいました。

段林さん、小椋さん、これからも子どもたちの成長をやさしく見守ってください。(前野 瑞恵)



介護予防で心も体も笑顔に…

今の元気をずっと
維持していくために



元気な人も、健康に少し不安がある人も、いつまでも介護を必要とせず、生き生きと自分らしく過ごしたいですね。

介護予防とは、介護が必要な状態になることを予防する取り組みで、宍粟市においても介護予防事業が実施されています。

「社協」「まどか園」「みどりの苑」で実施

一宮町においては、一宮南域を「宍粟市社協」、下三方・繁盛地区を「まどか園」、三方地区を「みどりの苑」が行政から委託を受け実施しています。

参加ご希望の方は、一宮保健

福祉センター(☎72-2100)にお問い合わせください。

「お達者クラブが
一番の楽しみ!」

宍粟市社協では、この介護予防事業を『お達者クラブ』の名称で取り組んでおり、健康体操や頭の体操、昼食、レクリエーションなど、午前10時から午後3時まで、利用者のみなさんが楽しい時間を過ごしています。

健康体操は、膝や腰のつらい方が多いため、自宅でも出来る体操を、レクリエーションは、わいわい賑やかに話をしながら心から楽しんでいただけるよう

なゲームを心掛けています。「おばあちゃんがお達者に参加してから朗らかになり会話も増えて本当によかったです」といった、ご家族の方からの喜びの声も多く聞かれます。

これからも、「お達者クラブが一番の楽しみ!」と頑張っているよう、スタッフ一同頑張っていきます。(細見純子)



「お達者クラブ」で心も体も介護予防! ~一宮保健福祉センター~

毎月開催しています

～介護者の会「そよかぜ」～



「やすらぎ」で毎月開催。この日は、介護ワンポイント教室を行いました。



一宮保健福祉センター

在宅で介護をされている方、これから介護に携わる方、介護経験のある方…在宅介護者の会『そよかぜ』に気分転換もかねて参加してみませんか。

他人には話せない悩みや愚痴などを打ち明け、お互いに元気をもらい合い励まし合っています。詳しくは社協(☎72-2211)までご連絡ください。

編集後記

創刊号が無事完成しました。配布については福祉委員さんにご無理をお願いしています。『いちのみや』の元気がたくさん発信できればとの思いで作ったかわら版。みなさんいかがでしたでしょうか。かわら版は年2回の発行を予定しています。(H・Y)